

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2011年4月～2012年3月
国名：日本

※今年度の年次報告書は担当者の名前やメールアドレスなどは伏せた形で冊子やHP上で公表する可能性があります。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 担当者

2. 学校概要

学校名 白石市立南中学校
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒989-0112
宮城県白石市越河平字平合23-1
E-mail : chief@sirominami-j.myswan.ne.jp
Website : http://www.shiroishiminami-j.myswan.ne.jp/
児童生徒数：男子 44 名 女子 25 名 合計 69 名
児童・生徒の年齢 13歳～15歳

3. 実施活動（下記から選択し、ESDについては活動した分野に○をして下さい。）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
 持続発展教育 (ESD) (国際理解 世界遺産 平和・人権 環境 気候変動
生物多様性 エネルギー 防災 食育 伝統文化 そのほか ())
 そのほか ()

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

1 活動名 福祉体験学習

2 対象学年 1, 2, 3学年

3 対象人数 69名

4 活動内容 講師を迎え、体験学習を行った。

5 活動報告

(1) 1学年：キャップハンディ体験

社会協議会から講師を招き、車いす体験・ブラインドウォークなどを行った。この体験を通して、生徒の中に、障害のある方々の立場になって考えようとする気持ちや誰に対しても思いやりのある態度で接しようという気持ちがふくらんだようである。

(2) 2学年：点字体験

講師を招き、点字板を使って実際に点字をうった。点字の意味や成り立ち、読み方についても学んだ。身のまわりのものにも点字が使われていることを改めて実感し、点字への興味が高まったようである。

(3) 3学年：手話体験

地域の手話サークルから講師を招いた。聴覚障害の方から直接講話を聞くことで、表情を添えて手話を行う大切さを実感できたようだ。手話を「目で見える言葉」として捉えることができたようである。

活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（

）

今年度の活動結果について（下記から選択して下さい。）

大変効果的な活動ができ、大変満足。 効果的な活動ができ、満足。

効果的な活動ができず、やや不満が残る。

どのように活動を学校のプログラムに盛り込んだか記載願います。

総合の時間のなかに盛り込んだ。

今までの活動の中で、教育の質の向上に効果のあった活動がありましたら、記載願います。

特になし。

活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。

紙媒体の参考資料（新聞、出版物など）

CD-ROM

写真

その他（

）

